

写真で見る

組合結成記念集会

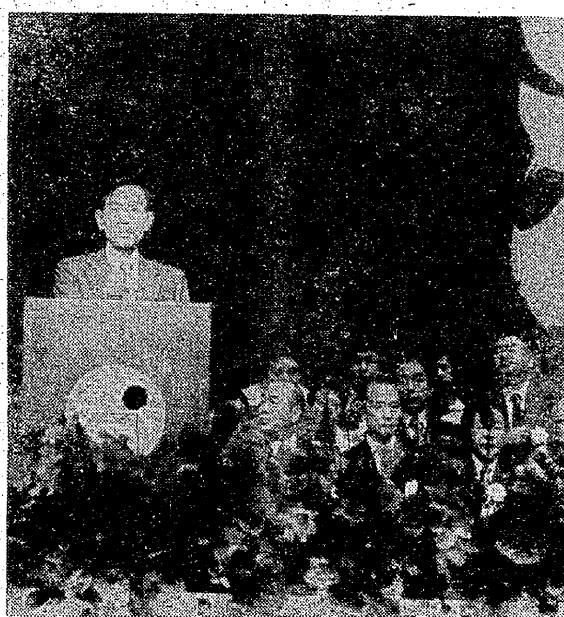
最後に、この日の参加者全員がこぶしをつきあげながら「ダンケツ、ガンバロウ」を叫び、これから闘いを発展させることを誓い合った。



決意を胸に秘めながら、古賀組合長があいさつ。岩井章元総評事務局長などの顔が見えて、集会の規模がうかがわれる。



港務指導部の松島邦子さん、「やがてくる日に」を朗読。



写真で見る、組合結成後の組合の歩み。



団結ハチマキに腕章の類。この日はおびただしい闘争記念品、組合員・家族の文化制作品が展示され、参加者の目をひきつけた。

各地から寄せられた祝電の数かず

こんどの組合結成三十周年記念に、日本の労働運動のリーダー集会には、全国各地から四十二通として歴史的な三池闘争をはじめもの祝電が寄せられました。そのうち、自治労全北海道庁労働組合から寄せられたものを紹介します。「日本の平和と民主主義を守り、労働者の生活と権利を確立するた会を、心からお祝い申し上げます」

なほ祝電を寄せていただいた団体と個人は、右をのぞき次の通りです。(順不同、敬称は省略させていただきます)

労働組合関係 京都府総評、鳥取県総評、新潟県総評、荒尾

子・西村玉子・田上二子。

以上の方が、心からお礼申し上げます。

記念集会ア・ピール

エネルギー政策転換。

三池闘争は、三井資本は三池をめぐって、きわめて反動的な合理化計画をつきつけてきた。総労働対三井資本と称された、歴史的な三池闘争に突入したのである。資本と反動政府が完全に一体と

三池闘争は、三井資本は三池をめぐって、きわめて反動的な合理化計画をつきつけてきた。総労働対三井資本と称された、歴史的な三池闘争に突入したのである。資本と反動政府が完全に一体と

思い起こさせた文化・闘争記念展

こんどの組合結成記念集会には、文化・闘争記念展を開催された。場所は、集会所。同じ大牟田市市民会館。組合員・家族の協力で、豊かな展示会となった。文化面では組合員(退職者も含め)自身が制作した絵(日本画や

紙、書などがならび、闘争記念展では、ホッパーパイプや日記、行動隊などの三池闘争に関する品や資料にとどまらず、組合結成から三池闘争が今日までたどってきた歩みをまざまざと語る資料も見られた。写真、機関紙、職場新聞、闘争関係書類、それに作曲家荒木栄三郎の曲などであった。